

● 蛇籠シンポジウム京田辺市暴風警報が発令され自動的に中止となる

台風 19 号が 12 日伊豆半島に上陸し関東から東北へ進路を取りました。巨大な台風で広範囲に影響を及ぼしました。進路各地に豪雨が続き千曲川をはじめ 57 の河川で堤防決壊箇所 90 となり洪水被害をもたらしました。木津川では毎秒 1400 トンが高山ダムから放流され、修復したばかりの流れ橋が 1 年あまりでまたまた流れ、24 回目の流出となりました。復旧には 5000 万円かかるとうわさされています。

12 日には、里山の会や京の川の恵みを活かす会の竹門先生、河川レンジャー・グループレンジャーの小林君や北野君などの主催で、1 部・中聖牛の見学と蛇籠製作体験、2 部蛇籠・中聖牛取組みの中間報告シンポジウム、3 部は交流懇親会を予定していました。残念なことに予期しなかった台風 19 号によって、中止となりました。特に前半には、田住君や福井さんからの実体験報告、後半には現在の木津川の大問題である。河床低下について竹門先生や角先生から見解をお聞かせいただくことになっていました。中止になり多くの方から惜しまれる声が届けています。当日は暴風圏に入っていました、それほど強いものではありませんでした。メールや電話などで周知徹底を図りましたが、間違っただけでこられる人も中にはいるのではないかと気を配って、9 時 30 分蛇籠製作現場に赴きました、現場にはすでに深田理事長や大村副理事長が先着されていました。京都新聞やチラシ等不特定多数の皆さんに広報していたので、中止連絡はそうした人々には行き届いていませんので、儀礼的にでも責任団体としての対応はすべきと判断していました。招集時間の 9 時 30 分に石川県珠洲市からお越しになった仙北屋さんが到着されました。竹門先生のお話を聞く中で蛇籠を作っている珍しい団体があることに知り、本日参加しましたとのことでした。午前 6 時前に出発をされているので、中止のメールをご覧になっていなかったようでした。折角お越しになったので、木津川の水位が上がる前だったので中聖牛の設置現場のご案内をいたしました。また製作現場と製作した現物もご覧になっていただき、里山の会の紹介を事務所に戻って説明いたしました。明日 13 日にも製作講習会を予定しているとお話して別れました。3 部の交流懇親会のために準備してきた「おでん」は明日の製作講習会に出席いただき皆さんにふるまうことにしました。おいしいおでんは深田理事長が奥さんとお二人で仕込んでいただきました。2 年続きで汗を流していただきました。大変ありがとうございました。70 年ほど前の山城大水害で復旧に復興に苦労されたお話を思い出し、まして数十人の犠牲者、行方不明者のご家族の心の痛手は、推し量れないものがあります。心からご冥福をお祈りいたします。

● 13 日(日)の蛇籠製作講習会に 14 人が集合。テレビで被害の大きさが伝えられ、相当大規模な被害になっていることが判明してきました。冷たい雨が被災地に降っているようです。頑張ってくださいとしかいいようがないのが実態です。さて、里山の会は、予定通り 13 日(日)9 時 30 分から竹蛇籠製作講習会を開催しました。あつまったのは常連の顔ぶれと、京都大学の学生さん 2 名に加えて初回から連続してご参加下さっている上村さん。川の仕事をされて朝まで徹夜作業をしてきた前川さん、竹門先生等 14 名が集合しました。台風被害を心配しながら 12 時 30 分までに 4 本 2 基 を 2 時間余りで製作しました。途中約 30 分間、昨日のおでんを食べる休憩時間を取ってのスピード仕上げとなりました。今回は超ベテランに交じって、新人も加わっての製作でしたが、随分と効率が良かったのです。

●蛇籠の製作手順動画撮影 8日(火)に福井、太田、大釜、山田さん4人の英知を結集

1 これまで蛇籠の製作について現物をもって現場での実地体験で説明してきました。これでは自習が出来なくて急所がわかりにくく広く啓発が出来ないので、ビデオ化できないかと課題にしてみました。映像化する立場からこの1カ月手順書づくりに取り組んできて、そこそこ急所についてのコツも飲み込むことが出来、福井さんに図式化に挑戦でいただきました。蛇籠シンポジウムには間に合うようにと頼みました。シンポでの報告スライドの製作準備を進めながらの作業を繰り返していただきました。見事に福井式の手順書が完成しました。これからこの手順書の普及を図り啓発に役立てられればいいと思います。

2 文書化は完成できましたので、次に製作4年目にもなるので、急所がわかりやすく解説された内容で映像化しておくべきではないかと考え、以前に経験のある山田さんに撮影を依頼しました。10月8日を撮影日に設定し、撮影する場面を幾度もチェックして、手順通りに撮影を進めていただきました。この出来栄えにも期待しています。

●10月14日現在。一か月間の竹籠製作実績

- ①16日間の製作行動日 延べ行動参加者105人
- ②成果物39本(19基分)を編みあげる
- ③延べ作業時間298時間
- ④達成率78%となる 残数は18本9基となる

●これまで流れ橋は高山ダムが毎秒1300トンの放流で、流失していました。前回の復旧工事で桁の本数を大幅に減少し高さも更に高くする改善がされました。にもかかわらず1400トンを放流に耐えられずに流失し、24回目の流失となりました。結局、後追い対策になって、またまた半年間の不通となるようです。

●いよいよ最終段階に突入しました 残る19本の製作で今年の製作講習会は終了となります。竹蛇籠に関心を持っておられる皆様、製作予定日は4日間(19・20, 26・27)です。その間に数日の臨時製作日を設定いたしますので、最終日まで完成させてしまえるかもしれません。一度でもご参加いただくといい経験になるはずです。こぞってご参集いただければありがたいです。その後11月にドッキングさせ完成品に仕上げる作業日を予定いたします。なお中聖牛の設置予定日は11月23・24日を計画しています。今年の予定は原小組さんのご指導で中聖牛の骨組みを参加者自らの手で組み上げてみたいと思います。この日は玉石投入作業がありますのでご協力をお願いいたします。

●中止となった中間報告シンポジウムの開催は11月24日(日)13時から井手町の京都府山城勤労者福祉会館で行います。13時開会挨拶 13時15分報告、14時15分講演竹門先生 15時原小組見送り 15時15分講演角先生 16時質疑応答、16時35分閉会挨拶 解散の予定です。

11月23・24日日に予定している中聖牛設置は23日の午前中は中聖牛支柱の組立を見学、午後に参加者みんなで組み上げる計画です。翌日(24日)の午前中に3基目を午前中にみんなで作り上げて完成させたいと思います。

昨年までは中聖牛の支柱の組立にはほとんど手を出さないと見守っていただいたのですが、今年は参加者自らも加わって、2回の取組を経験したいと思います。